

第276回「地域の会」定例会資料〔前回定例会以降の動き〕

【不適合関係】

- ・5月14日 核物質防護に関する不適合情報 [P.2]
- ・5月21日 大湊側屋外エリアにおける体調不良者の発生について（区分：Ⅲ） [P.8]

【発電所に係る情報】

- ・5月18日 柏崎刈羽原子力発電所6、7号機における原子力施設事態即応センターに係る原子力設置変更許可申請書の提出について [P.9]

【その他】

- ・5月14日 人事通知 [P.10]
- ・5月18日 燕市・魚沼市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について [P.12]
- ・5月28日 人事通知 [P.13]
- ・6月3日 柏崎刈羽原子力発電所に関するコミュニケーション活動等の取り組み [P.21]

【福島第一原子力発電所に関する主な情報】

- ・5月28日 福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況 [別紙]

<参考>

当社原子力発電所の公表基準（平成15年11月策定）における不適合事象の公表区分について

区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象
区分Ⅱ	運転保守管理上重要な事象
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象
その他	上記以外の不適合事象

以上

核物質防護に関する不適合情報

2026年4月6日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。
<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	設備の取替について、適切な時期での見直しができていることを確認した。 調査の結果、取替計画の確認不足、および進捗管理不足によるものであった。 対策として、取替延長による影響評価を実施し、期限管理の徹底および計画の適宜見直しを実施することとした。 なお、上記による監視設備等への影響はなかった。	2025/3/6	

4. 公表区分その他 11件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	発電所のデータを取り扱うシステムの情報(通信記録)が、一定期間取得できていない状況であることを確認した。 調査の結果、手順書の不備により情報を手動で取得できていないことによるものであった。 対策として、自動で情報の取得が実施されるように、当該機器を設定した。 なお、防護措置に影響はなかった。	2024/4/23	
2	核物質防護上の設備(侵入検知器の一部・電源盤・障壁)に錆を確認したことから、当該設備を交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、設備の機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2025/5/8	
3	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2025/9/8	
4	監視モニターの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2026/2/20	

5	<p>監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は代替措置にて維持した。</p>	2026/2/20	
6		2026/2/20	
7		2026/3/16	
8		2026/3/24	
9		2026/3/23	
10	<p>監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は維持されていた。</p>	2026/2/23	
11	<p>核物質防護上の設備(侵入検知器の一部・電源盤・障壁)に破損を確認したことから、当該設備を交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、設備の機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。</p>	2026/2/28	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年4月13日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。
<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備 考
1	原子力規制庁の検査官より、核物質防護に係る一部の監視設備の電源構成について指摘を受けた。調査の結果、当該設備については安全とセキュリティの両面で監視していたが、管理箇所がセキュリティ部署ではなかったため、電源構成の見直しが必要だと認識していなかった。 対策として、セキュリティ専用のカメラを追設すると共に、電源構成の見直しを実施した。 なお、対策が完了するまでの期間における監視機能は維持されていた。 当該エリアへの入域者へ対する必要な点検も実施されており、妨害破壊行為等の異常は確認されなかった。	2021/12/17	

- 4. 公表区分その他 0件

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年4月20日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該照明を交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、監視機能は維持されていた。	2025/8/14	
2	監視モニターの一部機能が正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、監視機能は維持されていた。	2025/11/2	
3	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該カメラを交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、監視機能は維持されていた。	2026/2/19	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年4月27日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	当社社員が休暇中に情報端末持込許可証を紛失したとの連絡があった。 調査の結果、社員が個人用携帯と許可証と一緒に保管しており、個人用携帯の紛失に伴い、許可証も紛失したことを確認した。 再発防止策として、携帯電話と許可証を別々に保管することとし、厳重に管理することとした。 また、関係者に対し、許可証の取扱いに関する再教育を実施した。	2026/1/25	

- 4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、本設備はバックアップ設備であることから、代替措置は不要であった。	2025/8/8	
2	協力企業作業員より、入構証を紛失したとの連絡があり、当該入構証の無効化措置を実施した。 調査の結果、強風によりカードケースの破損部から入構証が抜け落ちてしまった。 対策として、カードケースの破損が無い現場出向時の装備品チェック時に作業員同士で相互確認をする運用とした。 なお、後日、当該入構証は発見され、不正使用された形跡も確認されなかった。	2026/2/9	
3	核物質防護上の扉における付属機器が、一部正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該機器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、障壁機能は維持されていた。	2026/3/27	
4	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は代替措置にて維持した。	2026/3/25	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2026年5月11日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 4件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	当社が社内マニュアルで定めている核物質防護教育の一部(2024年度分)について、対象者の一部が2024年度内に教育を実施できず、2025年度の実施となった。 原因は、組織編成を変更した際、引き継ぎ不足により教育の担当者が不明確となったこと、教育実績の確認が不十分だったこと。 再発防止策として、業務分担表にて担当者を明示し、第4四半期に毎月教育・訓練の実績を確認することとした。	2025/5/16	
2	監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、当該カメラを設置した際に電源構成が共有されていなかったため、他の設備の電源停止時に、当該カメラの電源も停止した。 対策として、電源構成を書類(作業指示書)に記載するとともに、作業手順を見直すよう、関係者へ注意喚起を実施した。 なお、監視機能は維持されていた。	2025/12/18	
3	原子力規制庁より、防護区域・周辺防護区域の臨時出入許可にかかる一部申請書類に記載漏れがあるとの指摘を受けた。 調査の結果、申請書類の記載方法が明確でなかったため、申請書類受付時の運用を見直し、統一化するとともに、関係者へ再教育を実施した。 なお、当該箇所の記載漏れについては、他の記載箇所により補完することが出来ていたため、運用上の影響はなかった。	2026/3/12	
4	周辺防護区域境界の車両点検で、警備員が座席下部に未許可の工具(バール)が積載されていることを発見した。 原因として、当該車両はレンタカーであったため、運転していた協力企業作業員は、当該工具が積載されていることを認識していなかった。また警備員は、当該工具が積載されていた場所が狭隘部であったことから、発電所正門での車両点検時に積載を発見できなかった。 対策として、警備員に対して、積載物が見えにくい車両の点検方法の周知を行った。 また、所員および協力企業に対して、レンタカー借用時の事前点検を実施するよう周知した。 なお、持ち込まれた物品は速やかに構外へ搬出し、不正使用など防護措置への影響はなかった。	2026/3/17	

- 4. 公表区分その他 0件

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

区分：Ⅲ

号機	—		
件名	大湊側屋外エリアにおける体調不良者の発生について		
不適合の概要	<p>2026年5月20日午前11時15分頃、大湊側屋外エリアにて、足場の組み立て作業に従事していた協力企業作業員が体調不良（手足のしびれ）を訴え、その後病院へ搬送いたしました。</p> <p>なお、本人に意識はあり、自立歩行は可能な状態でした。</p>		
安全上の重要度／損傷の程度	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p> </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p> </td> </tr> </table>	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>		
対応状況	<p>病院での診察の結果、「<small>おうもんきんゆうかいしょう</small>横紋筋融解症」※と診断され、当該作業員は、点滴治療を受けました。</p> <p>発電所関係者へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。</p> <p>※<small>おうもんきんゆうかいしょう</small>横紋筋融解症：骨格筋細胞が融解・壊死し、筋肉の成分が血液中に漏れ出す疾患。主な症状は「手足のしびれや痛み」「脱力感」など。</p>		

柏崎刈羽原子力発電所 6、7号機における原子力施設事態即応センターに係る
原子炉設置変更許可申請書の提出について

2026年5月18日
東京電力ホールディングス株式会社

本日、当社は柏崎刈羽原子力発電所 6、7号機の原子炉設置変更許可申請書を原子力規制委員会へ提出いたしました。

当社では柏崎刈羽原子力発電所 6、7号機の重大事故に至るおそれのある事故、または重大事故に対処するために必要な体制の整備に関し、発電所外部の支援組織が活動する場所として、東京本社に原子力施設事態即応センターを設置しております。

今回の申請は、本社機能移転の一環として新潟県柏崎市内に建設中の新事務所内に新潟の原子力施設事態即応センターを追加することから、それらの内容を反映するものです。

なお、新事務所の竣工時期は 2026 年度を予定しておりましたが、建設業界における作業員不足や資機材不足等といった昨今の社会情勢の影響により、2027 年中へと見直すことにしました。

当社は、引き続き、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111（代表）

2026年5月14日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	<副所長級> 東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部部長代理 兼 原子力運営管理部（リスク担当）	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部長 兼 核セキュリティ施設運用グループマネージャー	ほりかわ たけし 堀川 健
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部部長代理 兼 原子力設備管理部（リスク担当） 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部長	みやた ひろのり 宮田 裕則
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 ユニット所長（5～7号）	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部長	たけもと ひさし 竹本 尚史

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

2026年5月14日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2026. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 日本原燃株式会社出向	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長 兼 新潟本部（リスク担当）	こばやし あきお 小林 章夫
2026. 7. 1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長 兼 新潟本部リスクコミュニケーター 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 経営技術戦略研究所	東京電力ホールディングス株式会社 核物質防護モニタリング室副室長 兼 核物質防護モニタリング室（リスク担当） 兼 核物質防護モニタリング室（カイゼン担当）	おおいし しげる 大石 茂

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

(お知らせ)

燕市・魚沼市における「東京電力コミュニケーションブース」の開催について

2026年5月18日

東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所（以下「発電所」）において、福島第一原子力発電所の事故の反省と教訓を踏まえて様々な安全対策を講じるとともに、事故への対応力強化のために各種訓練を繰り返し実施するなど、ハード・ソフトの両面から発電所の安全性向上に取り組んでおります。

また、地域の皆さまと直接お会いしてご意見を拝聴するとともに、発電所における安全性向上の取り組み状況について一人でも多くの方々に説明し、皆さまのご不安やご質問にお答えすることを目的として、新潟県内の各所にてコミュニケーション活動を実施しております。

このたび、以下のとおり燕市・魚沼市において「東京電力コミュニケーションブース」を開催いたしますのでお知らせします。

なお、詳細については、当社ホームページに開催会場ごとに「東京電力コミュニケーションブース」のご案内チラシを随時掲載してまいりますのでご覧ください。

<燕市>

- ・日時：2026年6月6日(土), 7日(日)
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・会場：道の駅SORAIRO 国上 正面駐車場（燕市国上 5866-1）

<魚沼市>

- ・日時：2026年6月20日(土), 21日(日)
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・会場：魚沼市地域振興センター 2階 多目的ホール（魚沼市吉田 1144）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
	<部長級>		
2026. 7. 1	核物質防護モニタリング室 副室長 兼 核物質防護モニタリング室 (リスク担当) 兼 核物質防護モニタリング室 (カイゼン担当)	柏崎刈羽原子力発電所 所長付 兼 原子力改革ユニット 原子力改革特別タスクフォース事務局 兼 原子力改革担当付	ひらぬま なおき 平沼 巨樹
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 所長付 兼 原子力改革ユニット 原子力改革特別タスクフォース事務局 兼 原子力改革担当付	原子力人財育成センター 人財総括グループマネージャー	おおもり あきひろ 大森 章弘
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部長	原子力運営管理部 運営業務グループマネージャー (新潟県柏崎市UKビル駐在)	なめかわ ひろみつ 滑川 弘光
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部長	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部	まつざか けんじ 松坂 健二
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 安全総括部長	原子力安全監視室 (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 安全総括部長	いしざき やすお 石崎 泰央
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部長	原子力安全・統括部 電気事業連合会派遣	みやざわ あきら 宮澤 晃
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部長	原子力運営管理部 保守管理グループマネージャー (新潟県柏崎市UKビル駐在) 兼 廃止措置室 兼 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 (計量管理担当 (核計装・設備担当))	たにぐち あつし 谷口 敦
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部長	原子力設備管理部 兼 設備技術グループ 兼 設計エンジニアリンググループ 兼 青森事業本部	ふかさわ ゆたか 深澤 裕
	<課長級>		
2026. 7. 1	新潟本部 地域コミュニケーション部 (上越担当)	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 労務人事グループマネージャー	わたなべ まさみ 渡辺 正美
2026. 7. 1	原子力安全監視室 (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 安全総括部 原子炉安全グループ	原子力設備管理部 原子炉安全技術グループ許認可チームリーダー 兼 青森事業本部	たけうち まさのり 竹内 雅憲
2026. 7. 1	渉外・広報ユニット広報室 広報企画グループマネージャー 兼 新経営理念プロジェクト本部事務局 兼 稼ぐ力創造ユニット組織・労務人事室	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループマネージャー	しらき こういちろう 白木 孝一郎

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	原子力・立地本部 (ワーク・マネジメントCFAM担当) (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 (保全担当) 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 (保全担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 (保全担当) 兼 第二保全部 (保全担当)	あなだ さとる 穴田 寛
2026.7.1	原子力運営管理部 運転計画グループマネージャー (新潟県柏崎市UKビル駐在) 兼 原子力・立地本部 (運転CFAM担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	ふるさわ のりお 古澤 法生
2026.7.1	原子力運営管理部 燃料管理グループマネージャー 兼 原子力設備管理部原子力耐震技術センター 兼 廃止措置室 兼 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 プール燃料取り出しプログラム部 5・6号燃料取り出しPJグループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 燃料グループマネージャー	やまだ だいぢ 山田 大智
2026.7.1	原子力設備管理部 設計エンジニアリンググループマネージャー 兼 規格基準グループマネージャー 兼 設備技術グループ 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 タービングループマネージャー 兼 環境施設プロジェクトグループマネージャー 兼 環境施設グループ 兼 第一保全部タービン (1・4号) グループ 兼 第一保全部タービン (2・3号) グループ	こんどう ゆういち 近藤 裕一
2026.7.1	原子力設備管理部 サプライチェーン戦略グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 保全総括グループマネージャー	ちゅうらい ようすけ 中禮 洋介
2026.7.1	原子力設備管理部建築技術グループ 兼 安全施設建設センター 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 建築 (第二) グループ 建築保全1 チームリーダー	やまざき ひろし 山崎 宏
2026.7.1	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター 機器耐震技術グループマネージャー 兼 安全施設建設センター 兼 青森事業本部	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 原子炉 (2・3号) グループマネージャー 兼 原子炉 (1・4号) グループ 兼 第二保全部原子炉グループ	みずさき ひろゆき 水崎 裕之
2026.7.1	原子力設備管理部 安全施設建設センター 副所長 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 安全施設工事プロジェクト (建築) グループマネージャー 兼 柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 建築 (第二) グループマネージャー	こばやし りょういち 小林 良一
2026.7.1	原子力設備管理部 安全施設建設センター プロジェクト総括グループ	柏崎刈羽原子力発電所 総務部	さとう としき 佐藤 俊樹
2026.7.1	原子力設備管理部 安全施設建設センター プロジェクト総括グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 安全施設工事プロジェクト (機電) グループ	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 柏崎刈羽原子力企業協議会派遣	いまい みよこ 今井 みよ子

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2026.7.1	原子力設備管理部 安全施設建設センター 機械グループマネージャー 兼 柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部原子炉グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 原子炉グループマネージャー 兼 安全施設工事プロジェクト (機電) グループマネージャー 兼 第一保全部 原子炉 (1・4号) グループ 兼 第一保全部 原子炉 (2・3号) グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 原子力設備管理部 安全施設建設センター機械グループ	しもきこだ りゅうた 下迫田 隆太
2026.7.1	原子力設備管理部 設備健全性診断グループマネージャー (新潟県柏崎市U Kビル駐在)	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 タービン (1・4号) グループマネージャー 兼 タービン (2・3号) グループマネージャー 兼 第二保全部 タービングループ	もんま けんすけ 門間 健介
2026.7.1	原子力人財育成センター 人財総括グループ (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 核セキュリティ育成グループ	原子力人財育成センター 核セキュリティ育成グループマネージャー	すげの のりつぐ 菅野 徳嗣
2026.7.1	福島第二原子力発電所 施設運用部当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直副長	すずき りょうじ 鈴木 良司
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 カイゼン室	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループ 情報発信チームリーダー	おおつき あけみ 大槻 明美
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 柏崎刈羽原子力企業協議会派遣	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 労務人事グループ労務チームリーダー	ふちおか ゆきたか 澗岡 幸崇
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 労務人事グループマネージャー	稼ぐ力創造ユニット 組織・労務人事室 活力向上グループ 服務制度チームリーダー	すがぬま ゆういち 菅沼 勇一
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 労務人事グループ	柏崎刈羽原子力発電所 総務部	たけい つよし 武井 剛
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 (地域担当)	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 柏崎地域グループマネージャー	やまだ だいすけ 山田 大輔
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループマネージャー	渉外・広報ユニット 広報室 グローバル・コミュニケーショングループ グローバル・コミュニケーションチームリーダー	まとは たつや 的場 達矢
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 地域共生総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 広報部サービスホールグループマネージャー	いがらし ゆう 五十嵐 裕
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 柏崎地域グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 地域共生総括グループマネージャー	さかい としゆき 坂井 敏幸
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部サービスホールグループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 カイゼン室	たてはら くみこ 立脇 久美子
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 (セキュリティ施設管理担当)	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 (防護設備プロジェクト設計・工事担当)	ゆもと たかゆき 湯本 隆行
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 (防護設備プロジェクト設計・工事担当)	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 (セキュリティ施設管理担当)	あべ みつる 阿部 満

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ (専任スタッフ)	いけだ ふみたか 池田 文隆
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループマネージャー 兼 核セキュリティ施設運用グループ	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 設備チームリーダー 兼 サイバーセキュリティグループ	さるがく ひでゆき 猿樂 秀幸
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ施設運用グループマネージャー 兼 核セキュリティ運営管理グループ	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループマネージャー 兼 核セキュリティ施設運用グループ	きむら けんじ 木村 賢司
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	原子力人財育成センター 運転育成グループ (専任スタッフ) (原子力技能指導職) (柏崎刈羽原子力発電所駐在) 兼 柏崎刈羽人財育成グループ	うえき ようすけ 植木 陽介
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 (運転管理担当) 兼 第二運転管理部	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 発電 (1~4号) グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	まじま かつり 間嶋 克憲
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 発電 (1~4号) グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	たけもと まこと 武本 誠
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 運転評価グループマネージャー 兼 第二運転管理部 運転評価グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ施設運用グループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 運転評価グループ	くわばら たけし 桑原 武史
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直副長	くわばら ともや 桑原 知弥
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直副長	こやま けいいち 小山 恵一
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直副長	いまい ひでかず 今井 秀和
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 (土木・建築担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部	いしだ ともあき 石田 智昭
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 兼 第二保全部	原子力設備管理部 設計エンジニアリンググループマネージャー 兼 規格基準グループマネージャー 兼 設備技術グループ 兼 青森事業本部	いまい なおと 今井 直人

日付	新 役 職	現 役 職	氏 名
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部	原子力設備管理部 建築技術グループ 兼 安全施設建設センター 兼 青森事業本部	寺山 武志 <small>てらやま たけし</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 (保全担当) 兼 第二保全部 (保全担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 保全総括グループマネージャー 兼 第二保全部 システムエンジニアリンググループ	猪狩 孝則 <small>いがり たかのり</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 保全総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 直営作業グループマネージャー	小山 清貴 <small>こやま きよたか</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 タービン (1・4号) グループマネージャー 兼 タービン (2・3号) グループマネージャー 兼 第二保全部タービングループ	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター 機器耐震技術グループ総合運営チームリーダー 兼 安全施設建設センター機械グループ 兼 青森事業本部	高松 英則 <small>たかまつ ひでのり</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 原子炉 (2・3号) グループマネージャー 兼 原子炉 (1・4号) グループ 兼 第二保全部原子炉グループ	原子力設備管理部 安全施設建設センター 機械グループ機械第二チームリーダー 兼 設備技術グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 保全総括グループ	木村 剛生 <small>きむら たけお</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 建築 (第二) グループマネージャー	原子力設備管理部 建築技術グループ 総括・建設計画チームリーダー 兼 安全施設建設センター 建築グループ 兼 青森事業本部	椎名 祐太 <small>しいな ゆうた</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直副長	小川 人也 <small>おがわ ひとなり</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直副長	内田 知 <small>うちだ さとる</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直副長	松田 雅晴 <small>まつだ まさはる</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 作業管理グループ 兼 第二運転管理部 当直長	南場 優 <small>なんば ゆたか</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 作業管理グループ 兼 第二運転管理部 当直長	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 当直長	黒崎 正隆 <small>くろさき まさたか</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 燃料グループマネージャー	原子力運営管理部 燃料管理グループ 燃料管理チームリーダー 兼 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 プール燃料取り出しプログラム部 5・6号燃料取り出しPJグループ	野中 伸仁 <small>のなか のぶひと</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 (保全担当) 兼 第一保全部 (保全担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 環境施設グループマネージャー 兼 環境施設プロジェクトグループ	曾根 正樹 <small>そね まさき</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 保全総括グループマネージャー	原子力設備管理部 設計エンジニアリンググループ 配管設計・耐震設計チームリーダー 兼 設備技術グループ 兼 青森事業本部	野々山 慎 <small>ののやま しん</small>
2026. 7. 1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 タービングループマネージャー 兼 環境施設プロジェクトグループマネージャー 兼 環境施設グループ 兼 第一保全部タービン (1・4号) グループ 兼 第一保全部タービン (2・3号) グループ	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター 安全調査グループ 調査チームリーダー 兼 安全強化プロジェクト管理グループ 兼 青森事業本部	泉谷 友之 <small>いずみやともゆき</small>

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 原子炉グループマネージャー 兼 安全施設工事プロジェクト (機電)グループマネージャー 兼 第一保全部原子炉(1・4号)グループ 原子炉(2・3号)グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 原子力設備管理部 安全施設建設センター機械グループ	原子力設備管理部 原子力耐震技術センター 機器耐震技術グループ 耐津波安全チームリーダー 兼 安全施設建設センター機械グループ 兼 青森事業本部	いむら なおたか 井村 尚貴
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 環境施設グループマネージャー 兼 環境施設プロジェクトグループ	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 保全総括グループ 設備コスト検討チームリーダー 兼 保全総括グループ 電気調達チームリーダー 兼 第一保全部電気機器(1・4号)グループ 兼 第一保全部電気機器(2・3号)グループ 兼 電気機器グループ 兼 モバイル設備管理グループ 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ	いとう のぶゆき 伊藤 信之
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電子通信グループマネージャー 兼 原子力安全センター 安全総括部	東京電力パワーグリッド株式会社 DX推進部 東京通信ネットワークセンター 通信機器保守第一グループマネージャー 兼 東京通信ネットワークセンター(環境担当)	もりや ひとし 守谷 仁志
2026.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 直営作業グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部 保全総括グループ 工程管理チームリーダー 兼 第二保全部 保全総括グループ	あんざわ ようすけ 安澤 洋介
2026.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 人財開発室 電子通信技能訓練グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電子通信グループマネージャー 兼 原子力安全センター 安全総括部	なかむら まさひろ 中村 昌弘
2026.7.1	東京電力エナジーパートナー株式会社 業務革新推進室 テブコカスタマーサービス株式会社出向	柏崎刈羽原子力発電所 総務部 総務グループ(チームリーダー待遇) 兼 原子力安全・統括部 IT戦略・統括グループ	はない やすまさ 花井 康雅

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131 (代表)

2026年5月28日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 福島本部復興調整部 公益社団法人福島相双復興推進機構出向	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 地域共創グループマネージャー	よしだ つよし 吉田 剛
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長 兼 新潟本部（リスク担当）	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部長 兼 原子力・立地本部 兼 原子力改革担当付	いたがき ひろし 板垣 宏
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部副本部長	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部長 兼 新潟本部（カイゼン担当）	こばやし よしのぶ 小林 慶喜
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部	東京電力パワーグリッド株式会社 山梨総支社（用地担当） 兼 用地部（山梨用地担当）	もりた たけし 森田 健史
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域共創部 地域共創グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 パワーグリッドサービス部 サービス推進グループ 兼 技術サービスグループ	まるやま まさし 丸山 昌史
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部長 兼 原子力・立地本部 兼 原子力改革担当付	東京電力ホールディングス株式会社 渉外・広報ユニット広報室 電気事業連合会派遣	かとう まさし 加藤 誠志
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部渉外・広報部	東京電力ホールディングス株式会社 稼ぐ力創造ユニット組織・労務人事室	いしい たかし 石井 貴志
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部技術・防災部 防災業務グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 相模原支社平塚制御所 厚木地域配電保守グループマネージャー	ふなき のぶひと 船木 信人
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部長 兼 新潟本部（カイゼン担当）	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 （新潟担当）	もとゆく はじめ 元宿 始
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 （新潟担当）	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 （上越担当）	はらだ まさひろ 原田 高央
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 （長岡担当）	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 上越地域グループマネージャー	せきぐち よしのり 関口 善仙

日付	新役職	現役職	氏名
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 (上越担当)	東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所総務部 労務人事グループマネージャー	わたなべ まさみ 渡辺 正美
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 地域総括グループマネージャー	たかはし さえこ 高橋 佐枝子
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 地域総括グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 中越地域グループマネージャー	あいかわ まさたか 相川 正孝
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 中越地域グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所業務統括室 労務人事グループ人事チームリーダー 兼 プロジェクトマネジメント室 中長期計画グループ	たちばな みつる 立花 充
2026.7.1	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部地域コミュニケーション部 上越地域グループマネージャー	東京電力パワーグリッド株式会社 栃木総支社業務総括グループ 業務チームリーダー	きむら しげる 木村 茂
2026.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 神奈川総支社小田原地域グリッドサービス グループマネージャー	東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部技術・防災部 防災業務グループマネージャー	しらはま あきひと 白濱 昭仁

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461 (代表)

「クールなでしこパトロール」とは

- 現場の安全管理として、「運転員によるパトロール」や「安全推進協議会によるパトロール」などの各種パトロール活動を実施してきましたが、新たな“気付き”が少ない状況でした。新たな“気付き”を得るため、2013年9月より社内の自主的な取り組みとして、今までパトロールに加わっていなかった女性社員を中心とした、「クールなでしこパトロール」を発足させ、新たな視点を取り入れたパトロールをすることにいたしました。
- 発足以降、現場で整理・整頓に関連する“気付き”を多く発見し、改善してきました。（CAP活動注1）また、注意喚起テープの貼付や危険箇所への注意喚起掲示物の掲示等を含め、発見した“気付き”をCR（コンディションレポート）注2として起票しています。
- 至近の活動では、“気付き”だけではなく、“良好事例”を発見することにも力をいれ、発見した“良好事例”は発電所内に紹介を行っています。

「クールなでしこパトロール」の様子

注1：CAP活動

「是正処置プログラム（Corrective Action Program）」の略で、発電所で発生する様々な問題を是正・改善するための一連の流れのことです。

CR（コンディションレポート）で事務所や現場などで気づいた事を報告し、一括で管理することで、発電所で働く全員で情報を共有しています。

注2：CR（コンディションレポート）

設備の故障や操作ミスといった不適合事象や日々の気づき事項を報告するレポートのことです。



【活動の詳細】

- <主な目的> 運転員や監理員のパトロールによる“気付き”に加え、日ごろ現場に行く機会が少ない人が“一般的な目線”で観察することで、さらなる“気付き”を提供する
- <体制> 公募による女性メンバー24人および事務局 ※協力企業の方の参加もあり
- <活動回数> 1回/月
- <場所> 主に6/7号機（非管理区域）
- <内容> ・3～5名程度メンバーおよび事務局2名程度でパトロール班を作り、現場を確認
・“一般的な目線”からの“気付き”を事務局に報告
・報告内容は事務局が確認し現場での“気付き”をCR（コンディションレポート）として起票することにより主管Gに改善を依頼

「廃炉」の主な作業項目と作業ステップ

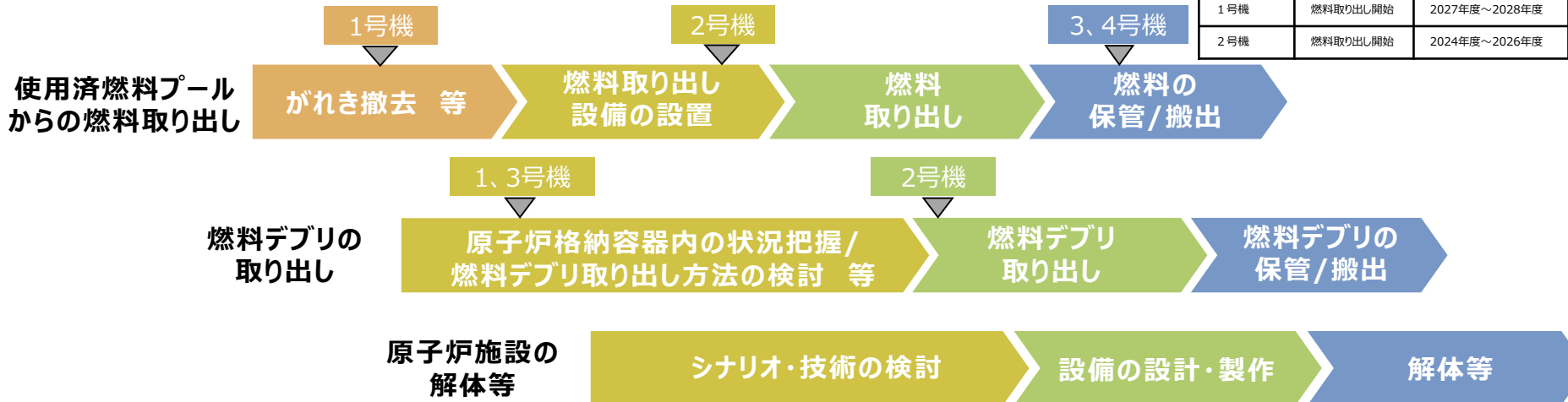
使用済燃料プールからの燃料取り出しは、2014年12月22日に4号機が完了し、2021年2月28日に3号機が完了しました。2号機燃料デブリの試験的取り出しは、2024年9月10日より着手し、中長期ロードマップにおけるマイルストーンのうち「初号機の燃料デブリ取り出しの開始」を達成しました。

引き続き、1、2号機の燃料取り出し、1、3号機燃料デブリ(注1)取り出しの開始に向け順次作業を進めています。

(注1)事故により溶け落ちた燃料

<中長期ロードマップにおけるマイルストーン>

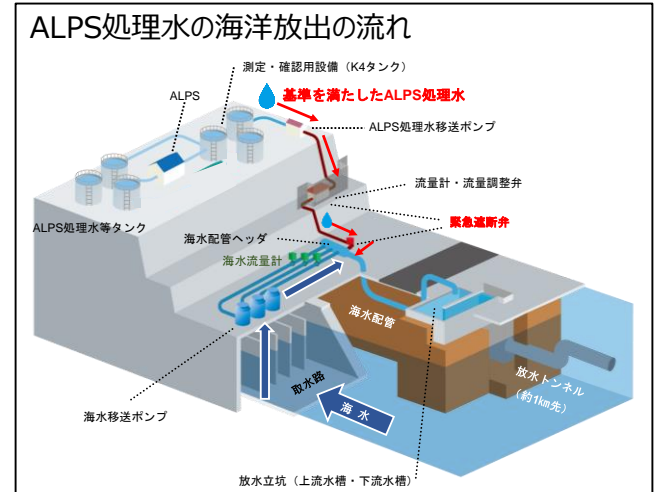
1～6号機	燃料取り出し完了	2031年内
1号機	燃料取り出し開始	2027年度～2028年度
2号機	燃料取り出し開始	2024年度～2026年度



処理水対策

多核種除去設備等処理水の処分について

ALPS処理水の海洋放出に当たっては、安全に関する基準等を遵守し、人および周辺環境、農林水産品の安全を確保してまいります。また、風評影響を最大限抑制するべく、強化したモニタリングの実施、第三者による客観性・透明性の確保、IAEAによる安全性確認などに継続的に取り組むとともに、正確な情報を透明性高く、発信していきます。



汚染水対策 ～3つの取組～

(1) 3つの基本方針に従った汚染水対策の推進に関する取組

①汚染源を「取り除く」 ②汚染源に水を「近づけない」 ③汚染水を「漏らさない」

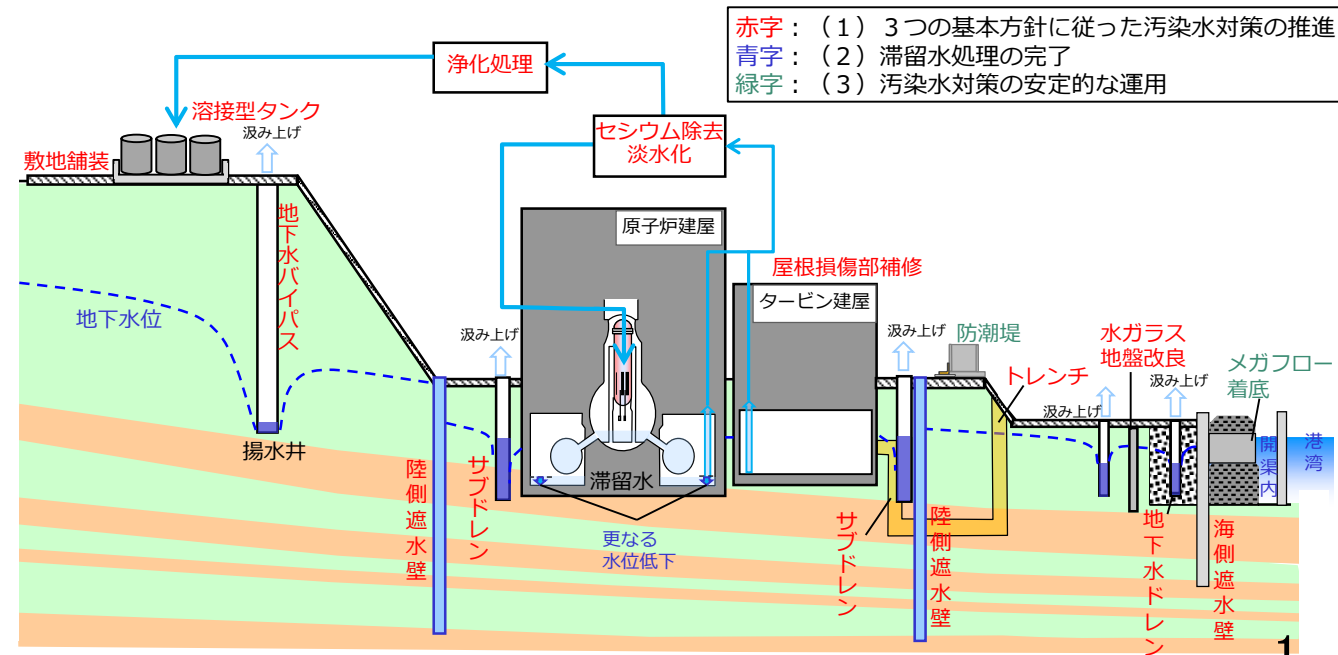
- 建屋滞留水（汚染水）は、まず、セシウム吸着装置（SARRY・KURION）により、セシウムとストロンチウムを低減します。その後、多核種除去設備（ALPS）での処理を行い、溶接型タンクで保管しています。
- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な汚染水対策により、建屋周辺の地下水位を低位で安定的に管理しています。また、建屋屋根の損傷部の補修や構内のフェーシング等により、汚染水発生量は抑制傾向で、対策前の約540m³/日（2014年5月）から約60m³/日（2025年度。平均的な降雨（約1,470mm）だったと仮定しても約70m³/日）まで低減し、2025年度は、「2028年度までに平均的な降雨に対して汚染水発生量を50～70m³/日程度に抑制する」とした目標を3年前倒しで達成したことを確認しました。
- 建屋周辺のフェーシングや建屋外壁局所止水等の汚染水発生量抑制対策を継続し、建屋流入量と2.5m盤からの建屋移送量の更なる抑制に努めています。

(2) 滞留水処理の完了に向けた取組

- 建屋滞留水水位を計画的に低下させるため、滞留水移送装置を追設する工事を進めています。
- 2020年に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理が完了しました。
- ダストの影響確認を行いながら、滞留水の水位低下を図り、2023年3月に各建屋における目標水位に到達し、1～3号機原子炉建屋について、「2022～2024年度に、原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減」を達成しました。
- プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の地下階に、震災直後の汚染水対策の一環として設置したゼオライト土壌等について、線量低減策および安定化に向けた取組を進めています。

(3) 汚染水対策の安定的な運用に向けた取組

- 津波対策として、建屋開口部の閉止対策を実施し、防潮堤設置工事が完了しました。引き続き、2.5m盤に設置しているサブドレン他集水設備を33.5m盤に移転する工事を実施していきます。
- 豪雨対策として、土壌設置による直接的な建屋への流入を抑制するとともに、排水路強化等を計画的に実施していきます。



東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ進捗状況（概要版）

取組の状況

- ◆ 1～3号機の原子炉・格納容器の温度は、この1か月安定的に推移しています。
また、原子炉建屋からの放射性物質の放出量等については有意な変動がなく、総合的に冷温停止状態を維持していると判断しています。

ALPS 処理水海洋放出の状況について

2025年8月からALPS処理水希釈放出設備の設備点検を実施していましたが、4月28日に測定・確認用タンクC群の全面内面点検が完了し、2025年度に計画していた全ての設備点検が完了しました。結果、機器の性能に影響を与える異常は確認されませんでした。

ALPS処理水の海洋放出にあたっては、放出基準を満足することを確認するため、海洋放出開始前に測定・評価対象核種（29核種）の濃度を確認しています。理論上はALPS処理前の汚染水中に存在する可能性があるものの、過去の分析にて有意な濃度で検出されることがない5核種（監視対象核種）については、測定・評価対象核種から除外していますが、年に1回ALPS処理前の汚染水中の濃度を確認しています。

2025年度の分析において、5核種全て有意な濃度で存在していないことを確認しました。また、測定・評価対象核種（29核種）の再評価を毎年度実施しており、今年度の再評価の結果、対象核種に変更がないことを確認しました。

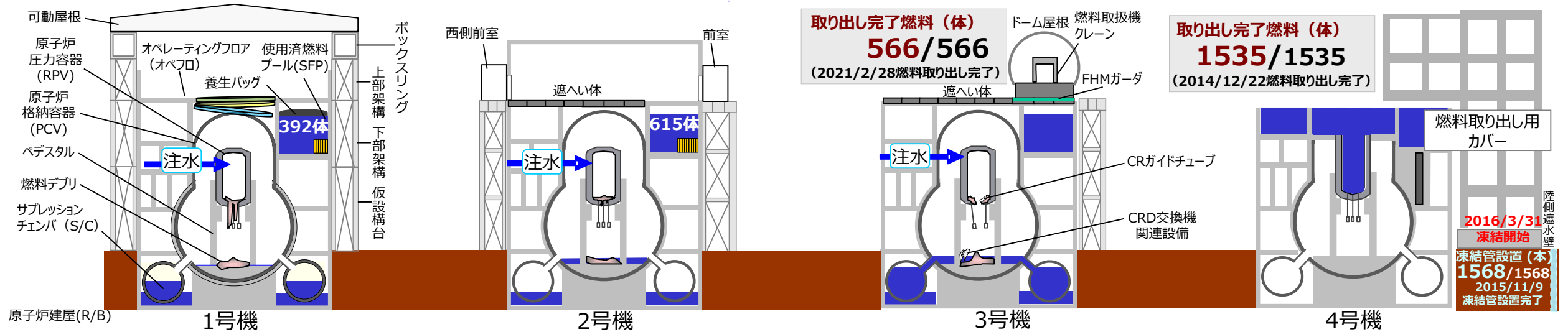
プール燃料取り出しの進捗について

2号機では、燃料取り出し作業開始に向けて、3月25日より燃料取り出し訓練に着手し、燃料取扱設備の実機を用いて、燃料取り出しにおける一連の作業手順を繰り返す訓練を実施中です。作業員の力量は着実に向上してきており、6月に作業開始する予定です。設備の点検や共用プールの空き容量確保作業等による中断を挟みながら、2028年度中の取り出し完了を目標としています。

4号機から取り出した新燃料は、現在6号機及び共用プールに保管しています。この4号機新燃料は既に搬出を開始している6号機新燃料と同様に米国工場へ搬出予定です。今後、搬出において必要となる実施計画変更申請等の準備を進めていきます。



<2号機燃料取り出し訓練で模擬燃料を吊り上げている様子（撮影日：5月13日）>

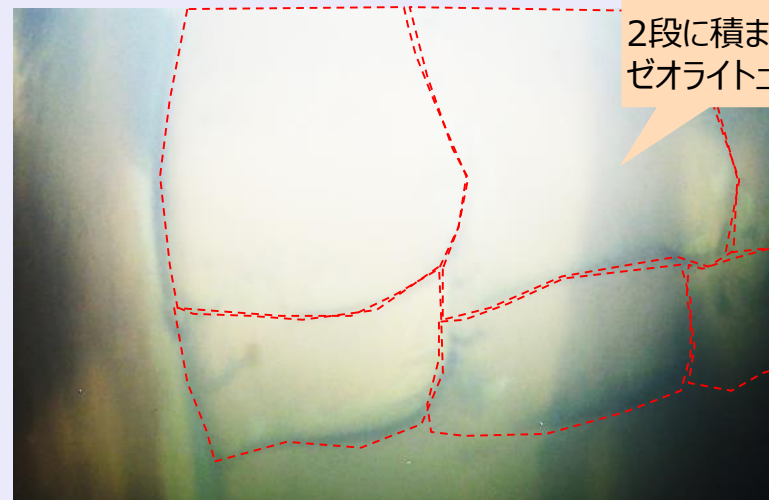


ゼオライト土嚢等処理の進捗状況について

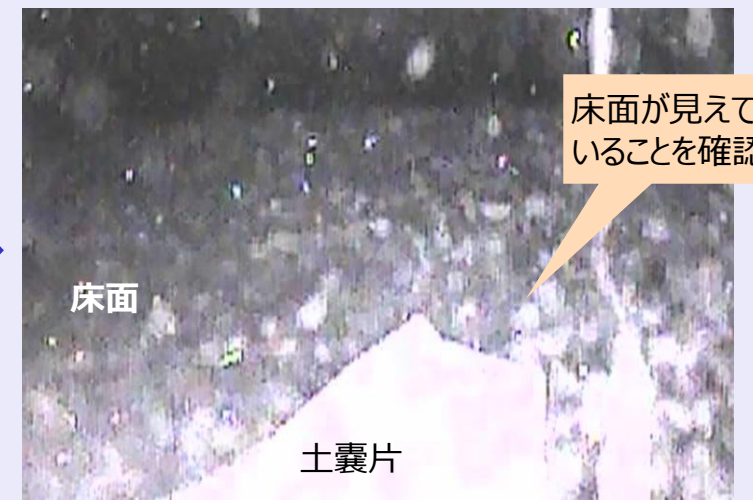
ゼオライト土嚢等の回収作業は、「集積作業」と「容器封入作業」の2ステップに分けて実施します。

2025年3月より高温焼却炉建屋にて集積作業を開始し、2026年5月11日にゼオライト集積予定箇所への移送が完了しました。

南東奥部の一部干渉物のあるエリアと南西角部に集積させたエリアに一部残存していますが、集積作業用の水中ロボット（ROV）での作業が困難であるため、今後、容器封入作業にて回収する予定です。



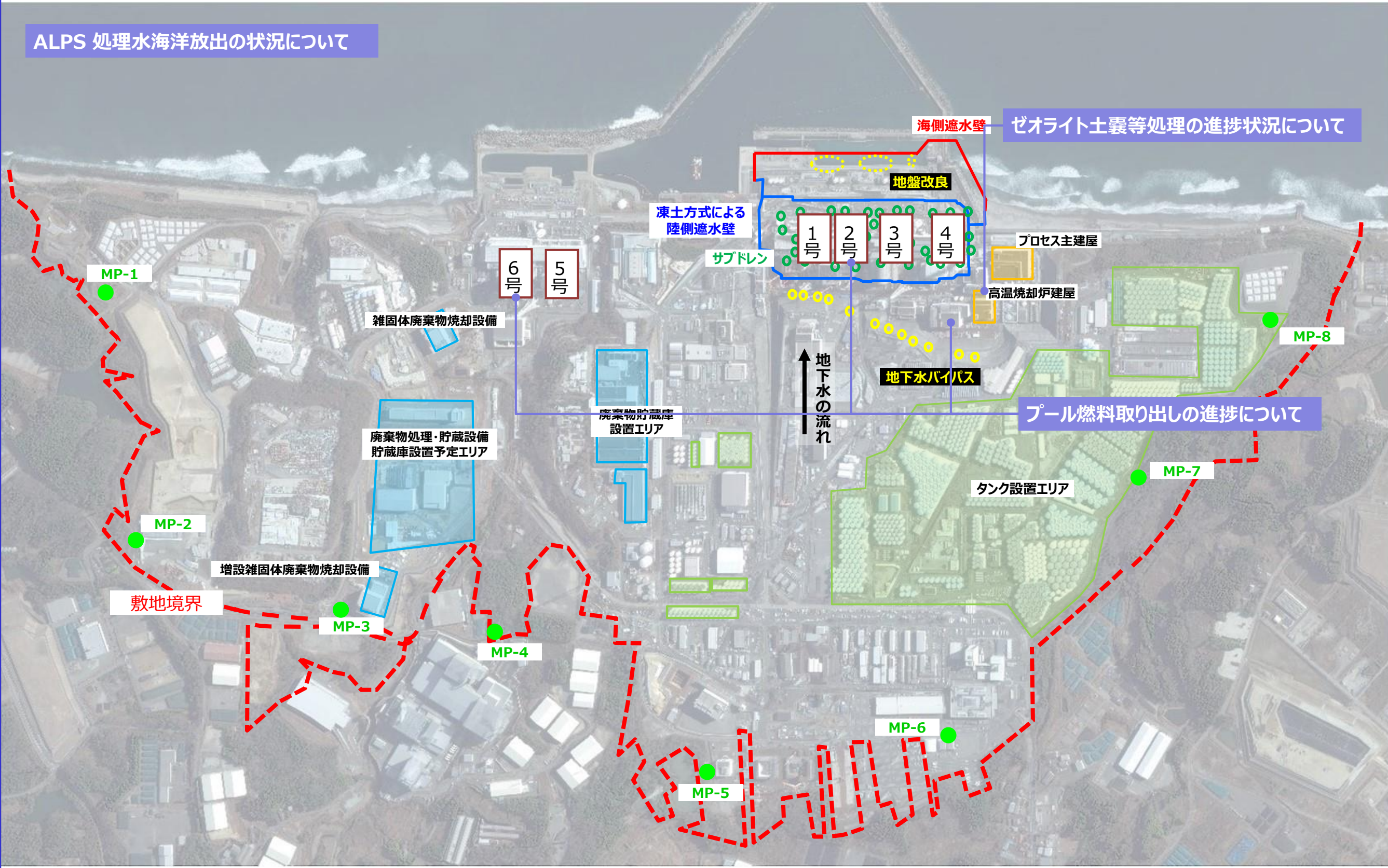
<集積実施前の様子（撮影日：2021年5月26日）>



<集積実施済の様子（撮影日：2026年5月8日）>

主な取組の配置図

ALPS 処理水海洋放出の状況について



提供：日本スペースイメージング（株）2025.11.10撮影
Product(C)[2025] Vantor.



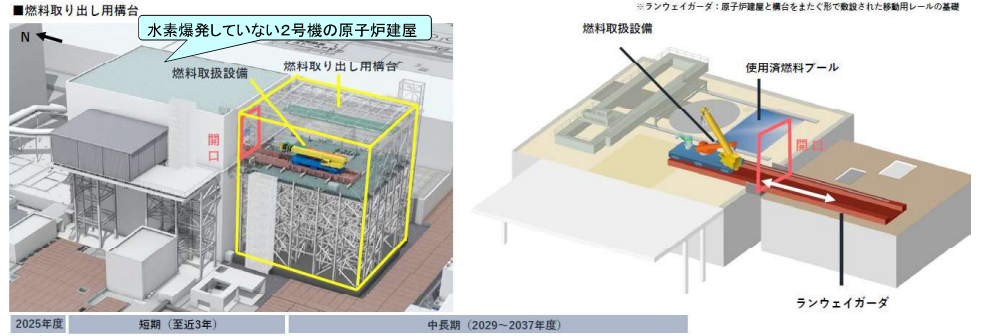
※3/26公表資料の抜粋版に加筆した資料

福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた進捗状況

主な課題	今までの実績・至近の取り組み	これから10年程度先までの計画	廃止措置の完了	
汚染水対策 ALPS処理水対策	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度汚染水の浄化を2015年に完了（残量をなく） 汚染水の発生量を約470m³/日（2014年度）から約70m³/日（2024年度）へ 海内での放射性物質濃度を事故直後の100万分の1程度まで減少 	<ul style="list-style-type: none"> 汚染水発生量の削減、建屋内滞留水の減少に向けた取り組みの継続 汚染水の燃料プールの取り出しの段階において必要な対策を実施 ALPS処理水の安全な放出（廃止措置完了までの期間に実施）と、廃炉作業に必要な敷地を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度実績 2025年度実績 2026年度実績 2027年度実績 2028年度実績 2029年度実績 2030年度実績 2031年度実績 2032年度実績 2033年度実績 2034年度実績 2035年度実績 2036年度実績 2037年度実績 2038年度実績 2039年度実績 2040年度実績 2041年度実績 2042年度実績 2043年度実績 2044年度実績 2045年度実績 2046年度実績 2047年度実績 2048年度実績 2049年度実績 2050年度実績 2051年度実績 2052年度実績 2053年度実績 2054年度実績 2055年度実績 2056年度実績 2057年度実績 2058年度実績 2059年度実績 2060年度実績 2061年度実績 2062年度実績 2063年度実績 2064年度実績 2065年度実績 2066年度実績 2067年度実績 2068年度実績 2069年度実績 2070年度実績 2071年度実績 2072年度実績 2073年度実績 2074年度実績 2075年度実績 2076年度実績 2077年度実績 2078年度実績 2079年度実績 2080年度実績 2081年度実績 2082年度実績 2083年度実績 2084年度実績 2085年度実績 2086年度実績 2087年度実績 2088年度実績 2089年度実績 2090年度実績 2091年度実績 2092年度実績 2093年度実績 2094年度実績 2095年度実績 2096年度実績 2097年度実績 2098年度実績 2099年度実績 2100年度実績 	<ul style="list-style-type: none"> 冷却停止状態達成（2011年12月）から30～40年後の廃止措置完了が目標 廃止措置に関する事項は廃炉作業や研究開発等の進捗状況を踏まえ、燃料プールの取り出し開始以降に定める。
使用済燃料プール内の燃料の取り出し	<ul style="list-style-type: none"> 3号機と4号機で燃料取り出しが完了 6号機で使用済燃料の取り出しが完了 	<ul style="list-style-type: none"> 1号機と2号機の燃料取り出し 2031年までに、1～6号機燃料の取り出し完了 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度 短期（至近3年） 中長期（2029～2037年度） 	
燃料デブリ [※] の取り出し	<ul style="list-style-type: none"> 燃料が溶けた1～3号機は安定的に冷却し、常温停止状態を維持 燃料プールの取り出しに向けて原子炉格納容器の内部調査を実施 2号機燃料デブリ試験的取り出しに成功 燃料プールの本格的な取り出しについて「準備」段階で作業内容とその工程等を報告 	<ul style="list-style-type: none"> 試験的取り出しの規模を踏まえ、方法を検証・確認した上で段階的に取り出し規模を拡大 2号機 1・3号機 取り出し規模の更なる拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2032年度 2033年度 2034年度 2035年度 2036年度 2037年度 2038年度 2039年度 2040年度 2041年度 2042年度 2043年度 2044年度 2045年度 2046年度 2047年度 2048年度 2049年度 2050年度 2051年度 2052年度 2053年度 2054年度 2055年度 2056年度 2057年度 2058年度 2059年度 2060年度 2061年度 2062年度 2063年度 2064年度 2065年度 2066年度 2067年度 2068年度 2069年度 2070年度 2071年度 2072年度 2073年度 2074年度 2075年度 2076年度 2077年度 2078年度 2079年度 2080年度 2081年度 2082年度 2083年度 2084年度 2085年度 2086年度 2087年度 2088年度 2089年度 2090年度 2091年度 2092年度 2093年度 2094年度 2095年度 2096年度 2097年度 2098年度 2099年度 2100年度 	
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> 廃炉作業等で発生した固体廃棄物の表面検査に応じ分別し、主に屋外にて保管 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2032年度 2033年度 2034年度 2035年度 2036年度 2037年度 2038年度 2039年度 2040年度 2041年度 2042年度 2043年度 2044年度 2045年度 2046年度 2047年度 2048年度 2049年度 2050年度 2051年度 2052年度 2053年度 2054年度 2055年度 2056年度 2057年度 2058年度 2059年度 2060年度 2061年度 2062年度 2063年度 2064年度 2065年度 2066年度 2067年度 2068年度 2069年度 2070年度 2071年度 2072年度 2073年度 2074年度 2075年度 2076年度 2077年度 2078年度 2079年度 2080年度 2081年度 2082年度 2083年度 2084年度 2085年度 2086年度 2087年度 2088年度 2089年度 2090年度 2091年度 2092年度 2093年度 2094年度 2095年度 2096年度 2097年度 2098年度 2099年度 2100年度 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止措置に関する事項は廃炉作業や研究開発等の進捗状況を踏まえ、燃料プールの取り出し開始以降に定める。 	

[2号機] プール燃料取り出し

建屋南側に「燃料取り出し用構台」を設置しました（2024年6月完了）。建屋を解体せず、建屋の南側に開口を設け、そこから「燃料取扱設備」を「ランウェイガード[※]」上のレールで走行させ、燃料を取り出します。



燃料取り出し開始（2024～2026年度）



燃料取り出し完了（2031年内）

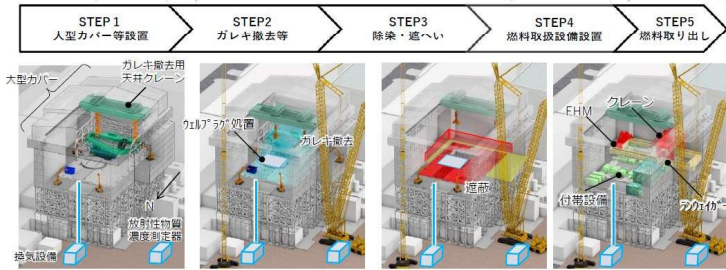
3/25より、燃料取り出し訓練に着手しており、6月より取り出し作業を開始予定

2. 大型カバー設置の状況

■ 大型カバーは、3月4、5日に使用前検査を完了。
■ ガレキ撤去用天井クレーンは、3月19日に落成検査を完了。

[1号機] プール燃料取り出し

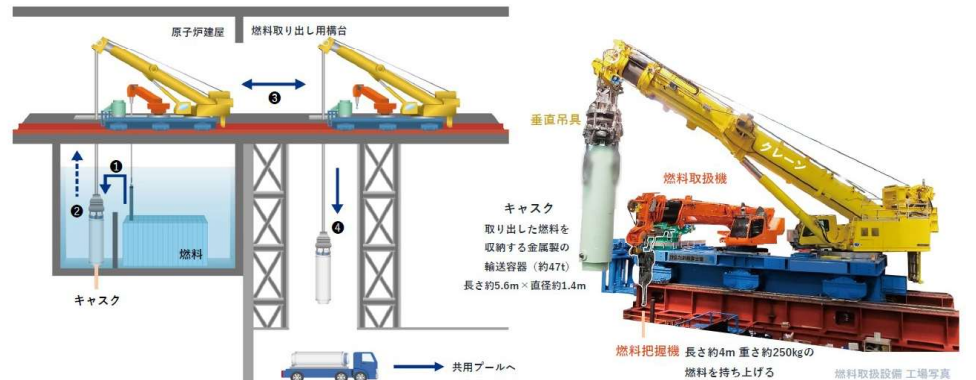
大型カバーを設置した後は、燃料取り出しに向けた「ガレキ撤去等」「燃料取扱設備の設置」等の準備作業を実施した後に、燃料取り出しを開始する予定です。なお、信頼性の高い「ガレキ撤去」や、「効果的な除染・遮へい」「震災前から貯蔵している破損燃料の取り扱い」に関する計画の検討および実施に課題があります。



2025年度 燃料取り出し開始（2027～2028年度） 短期（至近3年） 中長期（2029～2037年度） 燃料取り出し完了（2031年内）

[2号機] 燃料取扱設備について

「使用済燃料プール」から「燃料取扱機」で燃料を取り出し、「キャスク」に移します(①)。そして、キャスクを使用済燃料プールから「クレーン」で引き上げ(②)、移動させます(③)。その後、「クレーン」でキャスクを吊り下ろし、(④)トレーラーに載せて、1F構内の「共用プール」に輸送して貯蔵します。



第275回定例会でのご質問への回答

<三井田 潤委員>

- 非常用ガスタービン発電機に水が入って機密性が保たれなくなり、コーキングの対策をしたと思うが、コーキングの種類とメンテナンス間隔はどの位になるのか。
また、塩気がある場所なので、塩害除去の吸気フィルタがあるのか。
- 6号機発電機の破損した接地導体について、新たに据え付けた接地導体のアルミニウム部品は、鋼材証明書と現物が確認されているのか。
また、その新たに据え付けた接地導体に対し、誰がその設計変更の審査をして、誰が出したのか。
そして誰が承認して、誰が責任を取るのか。

(回答)

○非常用ガスタービン発電機について

防水対策はシリコン系のコーキング材を使用しており、コーキングの状態は2年(24か月)毎に点検して確認します。

塩害除去専用の吸気フィルタは設置しておりませんが、代わりに吸気ダクトや内部の機器には耐食性の材料を使用し、塗装を施しています。今後も、2年(24か月)毎の定期的な点検で外観確認・清掃を行い、必要に応じて部品交換を実施します。

○6号機発電機に新たに据え付けた接地導体のアルミニウム部品について

6号機発電機に新たに据え付けた接地導体のアルミニウム部品は、図面上で適切な合金(アルミニウム-マグネシウム-シリコン系で、ある程度の強度と高い伝導性をもつもの)であることを確認しています。接地導体は強度部材(構造を支える部材)ではなく、要求は「電氣的導通が確保され、設置状態において大地との絶縁が保たれていること」であり、社内ルールに従ってミルシート(鋼材証明書)は求めていません。部品折損の原因は共振現象であったことから、形状を短くする変更を行い、共振の周波数がずれることを現場で確認しております。

変更箇所は、現場工事実施前に関係部署で共有し、社内の会議で審査し、ユニット所長が承認しております。

以上